

エコアクション21

企画から提案、板金加工、塗装、組み立て、検査までの
社内一貫生産がニッシンの強み



環境経営レポート

対象範囲（全ての製品及びサービス）
活動期間（2023年8月～2024年7月）
発行：2024年 8月 1日



1. 目次

1. 目次	・・・P2
2. 会社概要	
・ 事業所名、所在地、主要取引、事業内容、主要製品、会社沿革、etc.	P 3-P 5
・ 経営理念、品質方針、環境経営方針	・・・P 6
・ 環境経営組織と権限、環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	・・・P 7-P 8
3. 環境経営活動	
・ 環境経営目標	・・・P 9
・ 環境経営計画	・・・P10
・ 環境経営目標の実績	・・・P11
・ 環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価	・・・P12
・ 5 6 期の提案制度、5 S・安全衛生活動の取組について	・・・P13-P15
・ 5 7 期(2024 年 8 月～2025 年 7 月)からの取組	・・・P15
4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・P16
5. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・P17

2. 会社概要

Technique of Nisshin



会社概要

称号	株式会社ニッシン
設立	昭和44年5月1日
所在地	埼玉県飯能市落合500-1 TEL 042-974-1161(代) / FAX 042-974-1705
資本金	1,000万円 売上 105,976.12万円
代表者氏名	手塚 文紀
社員数	58名(パート、研修生含む)
URL	http://www.nisshin-corp.com/
E-mail	ogawa@nisshin-corp.com n-harada@nisshin-corp.com

お問合せ先 営業部 小川、原田

取引銀行 飯能信用金庫 黒須支店
埼玉りそな銀行 飯能支店
日本政策金融公庫 さいたま支店
青梅信用金庫 飯能支店

グループ企業 株式会社エスイー
〒350-1327 埼玉県狭山市笹井3015
TEL 04-2953-2118 / FAX 04-2952-0025
<http://www.esuii.com/>



事業内容

機械設計、プログラム、精密板金加工、塗装、電装組立



主要製品

電気機器筐体及び部品、O A 機器、医療機器、ダストボックス等



主要取引先

- 株式会社リコー ■リコーインダストリー株式会社
 - リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
 - 株式会社平山製作所 ■株式会社明光商会 ■センターピア株式会社
 - 有限会社小林製作所 ■日立化成株式会社 ■中村電気株式会社
 - 日本セイフティー株式会社 ■日昭電器株式会社 ■宝永電機株式会社
 - 三徳商事株式会社 ■株式会社イワキ ■株式会社ニッソー冷熱製作所
 - 株式会社モリタ東京製作所 ■ヨシトヨ工業株式会社 ■株式会社スタック
- 他数十社 (順不同)



会社沿革

- 昭和44年5月 東京都新宿区に資本金200万円にて設立
- 昭和45年2月 埼玉県飯能市に本社工場移転
- 昭和54年6月 資本金800万円に増資
- 昭和54年7月 業務拡張の為、板金組付工場増設
- 昭和54年11月 業務拡張の為、塗装工場増設
- 昭和55年2月 塗装工場に新ライン設備導入
- 昭和59年5月 NCT(PEGA)導入
- 昭和60年11月 レーザーマシン(LC2-644)導入
- 昭和61年1月 レーザーマシン(LC2-644-II)に入れ替え
- 平成3年6月 塗装前処理装置、排水処理装置設置及び塗装ライン全面改良
- 平成7年11月 資本金1000万円に増資
- 平成8年4月 医療用機器製造業許可認証取得(埼玉県)
- 平成8年5月 医療用機器のOEM生産開始
- 平成9年8月 渋谷光博 代表取締役社長就任
- 平成12年2月 NCT(ビプロスZ358NT)及びサイクルローダー導入
- 平成12年10月 粉体塗装設備導入
- 平成16年5月 複合機(アペリオⅢ)及びマニプレーター導入
- 平成17年8月 前処理設備改良更新
- 平成17年11月 埼玉県知事から経営革新計画(平成17年8月～平成22年7月)の承認を受ける
- 平成18年3月 環境マネジメントシステム"エコアクション21"認証取得
- 平成20年8月 CNCタレットパンチプレス(EM2510NT)導入
- 平成21年8月 渋谷光博 代表取締役会長就任
- 平成21年8月 手塚文紀 代表取締役社長就任
- 平成24年3月 化学物質管理システム"リコーCMS"認証取得
- 平成24年5月 高精度ベンディングマシン(HDS-1303NT)導入
- 平成24年5月 品質管理システムISO9001:2008認証取得
- 平成26年7月 YAGレーザー溶接機(YLM-500PII)導入
- 平成27年11月 テープレスボット溶接機(NK-03H100-10-KG-EZ高速溶接技術システム)導入
- 平成28年7月 高速・高精度サーボベンディングマシン(EG-6013)導入
- 平成28年9月 パリ取り機(AuDeBu1000型)導入



この社内一貫生産が
ニッシンの強み!

価格低減の
ご提案や
図面の作成

板金加工

検査

 株式会社 **ニッシン**

塗装

組み立て

板金加工と塗装業者が別の場合、製品の移動"横もち"が発生したり、製品に関わる業者が多くなる程、管理費が増えたり、リードタイムが長くなったり、品質に対する責任の所在があいまいになりがち。

社内一貫生産が可能なニッシンであれば、責任を持って、板金塗装の品質を保証し、

お客様のご要望に見合った価格・納期をご提案致します。

経営理念

お客様の要望には最大限の力で応え、無駄を徹底排除した高効率体質を構築し、社会に貢献する経営を行う。

品質方針

「品質によってお客様の満足を得、品質によって社会に貢献する」を念頭に国際標準に配慮し、お客様により良い製品とサービスを提供する。
その為に下記1)～3)に重点を置き継続的改善を実施する。

- 1) お客様要求事項を満たし、加工技術の向上を図り、お客様に満足される製品を生産し、提供する。
- 2) 品質マネジメントシステムを構築し、継続的にマネジメントシステム、プロセスの改善を行う。
- 3) お客様のクレームは迅速に対応し、是正、予防処置を見直し、再発防止に努める。

環境経営方針

当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工、塗装、組立業務を通じて次に示す活動を優先事業活動の1つとして行います。

1. 関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2. 二酸化炭素削減・廃棄物の削減・上水の削減・グリーン購入の推進に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3. 分別の徹底、リサイクル品の積極的な採用により資源リサイクルの推進を図る。
4. 含有禁止物質及び有機溶剤の管理を徹底する。
5. 環境マネジメント活動に、“品質管理”と“5S活動”をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6. 社員一人ひとりがこの方針を理解し、スキルアップに努め、環境管理のスペシャリストになる。

2024年 8月 1日

生産本部長 **安達 知明**

株式会社ニッシン環境経営組織機能図



※ 各部門責任者は1年毎に担当者が変わります。

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者（環境経営責任者）：生津 節男

E-mail：namazu@nisshin-corp.com

担当者（環境経営事務局）：梅澤 重隆

E-mail：umezawa@nisshin-corp.com

電話番号：042-974-1161

FAX 番号：042-974-1705

3. 環境経営活動

環境経営目標

54期を基準とし55期、56期、57期の3年間で中期目標は次の通り。

NO.	環境負荷項目		単位	54期基準	55期計画	56期計画	57期計画	備考
1	サ製 品 ピ び 及 び ス ビ	含有禁止 物質	%	含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	グリーン購入としても取り上 げる 客先要求事項に対する実績数 値
2	水 入 資 源 投	上水	m ³ (金額)	2,341 (¥1,018,835)	54期金額から 目標1%減 2,317 (¥1,008,646)	51期金額から 目標2%減 2,294 (¥998,458)	51期金額から 目標3%減 2,270 (¥988,270)	
3	素二 酸 化 炭	電力	kWh (kg-CO ₂)	592,049 (278,787) CO ₂ 排 出係数 0.473, 0.451	54期排出量から 目標1%減 586,128 (275,999)	54期排出量から 目標2%減 580,208 (273,211)	54期排出量から 目標3%減 574,287 (270,423)	CO ₂ 削減の為のテーマ
4	廃 棄 物 排 出	一般廃棄物	kg (金額)	1,340 (¥26,800)	54期金額から 目標1%減 1,326 (26,532)	54期金額から 目標2%減 1,313 (26,264)	51期金額から 目標3%減 1,299 (25,996)	
5		金属くず (異常発 生品)	kg	2,950	51期排出量から 目標1%減 2,920	51期排出量から 目標2%減 2,891	51期排出量から 目標3%減 2,861	
6	グ リ ン 購 入	事務用品	%	購入率92.3%	54期グリーン 購入率から 購入率93%	54期グリーン 購入率から 購入率94%	54期グリーン 購入率から 購入率95%	

※1：上記の表は54期（2021/8～2022/7）55期（2022/8～2023/7）56期（2023/8～2024/7）57期（2024/8～2025/7）

※2：有機溶剤、非常時・緊急時については管理項目として掲げる。

※3：削減目標は基準年売上比率－各使用量・排出量比率とする。

※4：目標数値は参考値の為（ ）とする。

【全社テーマ】

- 電力消費量(CO₂)の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 一般廃棄物の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 上水の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 含有禁止物質の管理・・・客先要求事項による徹底管理。
- 有機溶剤の管理・・・要求事項による徹底管理。
- グリーン購入の推進・・・54期購入率を基準、57期末までに購入率90%達成

【部門テーマ】

1. 事務所G
 - 電力消費量(CO₂)の削減・・・54期排出量を基準、57期末までに3%減
2. 第一加工課NCTG、第一加工課ベンダーG、第二加工課、第三加工課塗装G、第三加工課組立G
 - 異常発生品スクラップの削減・・・54期排出量を基準、57期末までに3%減

環境経営活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値			担当部門／責任者	手順書
				計画				
1	電力消費量(CO ₂)の削減	54期金額基準 57期末3%減	1. デマンド管理と照明器具等見直し 2. デマンド管理による節電実施 3. デマンド管理による節電実施	55期末1%	56期末2%	57期末3%	全部門	電力削減手順書 デマンド管理(電力消費量(CO ₂)削減)
2	廃棄物の削減	54期金額基準 57期末3%減	1. 廃コピー用紙の再利用の徹底 2. 購入品等の廃棄物の再利用化 3. 廃棄物運搬頻度の削減	55期末1%	56期末2%	57期末3%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	54期金額基準 57期末3%減	1. 水道、蛇口、トイレの節水 2. 使用メモリ対策の推進 3. 使用メモリ対策の推進	55期末1%	56期末2%	57期末3%	全部門	上水削減手順書
4	含有禁止物質の管理	客先要求事項による徹底管理	1. レベル1 含有成分即時納入禁止 2. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止 3. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止	55期末含有量0%	56期末含有量0%	57期末含有量0%	全部門	含有禁止物質管理手順書
5	グリーン購入の推進	54期購入率基準 57期末95%達成	1. 事務用品の現状把握 2. グリーン購入の選定と購入の推進 3. グリーン購入の選定と購入の推進	55期末93%	56期末94%	57期末95%	全部門	グリーン調達手順書
6	異常発生品スクラップの削減	54期排出量基準 57期末3%減	1. 異常発生品の低減化 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと試行と実施	55期末1%	56期末2%	57期末3%	第一加工課 NCTG ベンダーG 第二加工課 第三加工課 塗装G 組立G	異常発生品スクラップ削減手順書

 実施試行、
  維持

※1：54期（2021年 7月～2022年 7月）、55期（2022年 7月～2023年 7月）、56期（2023年 7月～2024年 7月）
 57期（2024年 7月～2025年 7月）

上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

- 電力(CO₂)の削減：電力メーターの設置により、基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、又、使用していない照明器具等の撤去等を行う。
 - 一般廃棄物の削減：雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。
 - 上水の削減：各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。
 - 含有禁止物質の削減：客先要求事項により含有禁止物質使用をしない。(グリーン購入の推進)
 - 金属くず(異常発生品)：異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。
 - グリーン購入の推進：事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。
- ※ 有機溶剤は管理項目として掲げる。

環境経営目標の実績

54期を基準とし、55期、56期、57期の実績は次の通りである。

NO.	売上/環境負荷項目		I:投入 O:排出	単位	54期	55期	56期	57期	備考
1	売上		-	円	売上目標 月:71,000,000 年:852,000,000 売上実績 月:59,209,133 年:710,509,600	売上目標 月:60,000,000 年:720,000,000 売上実績 月:74,757,849 年:897,094,183 54期より 26.26%増	売上目標 月:78,000,000 年:936,000,000 売上実績 月:88,313,436 年:1,059,761,227 54期より 49.16%増	売上目標 月:78,000,000 年:936,000,000 売上実績 月:— 年:—	基準期との 売上比率
2	製品及 スピ サビー	使用禁止 物質 (製品グリーン 購入)	I	%	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	— —	客先要求事項に 対する実施 グリーン購入 推進項目
3	水資源 投入	上水	I	m ³ (円)	2,341 (¥1,018,835)	削減目標1% 2,317 (¥1,008,646) 目標実績 2,432 (¥1,062,941) 21.93%減	削減目標2% 2,294 (¥998,458) 目標実績 2,992 (¥1,338,910) 17.74%減	削減目標3% 2,270 (¥988,270) 目標実績 —	各削減目標は、 54期の金額を基 準に実施 金額にて比較
4	エネルギー 使用量	電力	I	kWh (円)	592,049 (¥14,122,370)	削減目標1% 586,128 (¥13,981,146) 目標実績 594,582 (¥18,484,661) 5.56%増	削減目標2% 580,208 (¥13,839,823) 目標実績 665,773 (¥18,100,998) 20.07%減	削減目標3% 574,287 (¥13,698,699) 目標実績 —	各削減目標は、 54期の金額を基 準に実施 金額にて比較
						削減目標1% 275,999 目標実績 281,234 25.38%減	削減目標2% 273,211 目標実績 318,002 35.09%減	削減目標3% 270,423 目標実績 —	各削減目標は、 54期の排出量を 基準に実施 売上、電力金額 と比較値で算出 CO ₂ 削減の為
		全エネルギー CO ₂ 排出総量	O	kg-CO ₂	541,914	540,336	622,887	—	
5	廃棄物 排出	一般廃棄物 (可燃ゴミ)	O	kg	1,340 (¥26,800)	削減目標1% 1,326 (¥26,532) 目標実績 1,090 (¥21,800) 44.92%減	削減目標2% 1,313 (¥26,264) 目標実績 1,280 (¥25,600) 53.63%減	削減目標3% 1,299 (¥25,996) 目標実績 —	各削減目標は、 54期の金額を基 準に実施 金額にて比較
金属くず (異常発 生品)		O	kg	2,950 (¥171,193)	削減目標1% 2,920 (¥17,021) 目標実績 360 (¥18,309) 114.06%減	削減目標2% 2,891 (¥16,849) 目標実績 1,510 (¥77,120) 97.97%減	削減目標3% 2,861 (¥16,677) 目標実績 —	各削減目標は、 54期の排出量を 基準に実施 排出量にて比較	
7	グリーン 購入	事務用品	I	%	購入率 92.3%	達成目標93% 目標実績 93.8% 購入率達成	達成目標94% 目標実績 94.5% 購入率達成	達成目標95% 目標実績 —	各削減目標は、 54期の購入率を 基準に実施

※1:上記の表は54期(2021/8~2022/7)55期(2022/8~2023/7)56期(2023/8~2024/7)57期(2024/8~2025/7)

※2:目標値、実績値は基準期をベースとし、売上との比率にて計算しております。

※3:排出係数は、令和4年度(株)関電エネルギーソリューション、東京電力(株)の実排出係数を使用しています。

※4:電力以外のエネルギーは、削減策が困難な為、維持管理項目としております。

環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価

5 6 期の具体的な取組と結果とその評価については以下の通りである。

環境目標	取組項目	単位	結果(基準期との比較)				55期評価と56期からの取組内容		
			基準期(54期)	55期	56期	57期	評価	評価に対するコメント	継続有無 取組内容
売上	—	%	基準期との比較				—	—	—
			710,509,600	897,094,183	1,059,761,227	—	—	—	—
			—	26.26%増	49.16%増	—	—	—	—
客先要求事項に対し含有禁止物質の管理の徹底を行う。 (グリーン購入)	◎客先要求事項の把握 ◎含有禁止物質の管理 ◎代替品等の把握と対応	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	—	○	客先要求事項に対し迅速に把握し、含有禁止物質に対する調査、管理等を徹底し、かつ客先からのクレームも無い事から目標達成致しました。	継続有 同等管理 で継続
			含有禁止物質による客先クレーム状況						
			無						
上水の使用量を54期を基準として57期末までに3%削減する。	◎各部門こまめな節水 ◎第三加工課塗装Gの前処理に対する吊り掛け方法の改善(生産効率による節水)	m ³	2,341	2,432	2,992	—	○	54期に比べて56期は売上が49.16%増に対し17.74%減となった。売上増加しているが、水の使用量が抑えられている。	継続有 同等管理 で継続
		金額	1,018,835	1,062,941	1,338,910	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
電力消費量(CO ₂)を54期を基準として57期末までに3%削減する。	◎デマンド236kWhの管理 ◎各部門空調機関係のこまめな節電 ◎各部門業務に支障が無い程度の蛍光灯の撤去	kWh (kg-CO ₂)	592,049 (278,787)	594,582 (281,234)	665,773 (318,002)	—	○	54期に比べて56期は売上が49.16%増に対し、金額比較より20.07%減(kg-CO ₂ :35.09%減)となった。電気代が上がっている中でこまめな節電の徹底により二酸化炭素共に達成が出来た。	継続有 同等管理 で継続
		金額	14,122,370	18,484,661	18,100,998	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
一般廃棄物排出量を54期を基準として57期末までに3%削減する。	◎各部門ボール用紙、段ボール等リサイクルへ循環させる ◎家庭のゴミ等は持ち込まない	kg	1,340	1,090	1,280	—	○	54期に比べて56期は売上が49.16%増に対し53.63%減となった。リサイクル強化と出来る限り購入品等の在庫削減の効果により達成が出来た。	継続有 同等管理 で継続
		金額	26,800	21,800	25,600	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
異常発生品スクラップの排出量を51期を基準として54期末までに3%削減する。	◎各グループで発生した異常発生品についての再発防止の実施 ◎品質管理と5S活動をリンクさせR&D向上の実施	kg	2,950	360	1,510	—	○	54期に比べて56期は売上が49.16%増に対し97.97%減となった。品質管理の面で、各部署でのQC活動が表れていた。	継続有 同等管理 で継続
			171,193	18,309	77,120	—			
			基準期との比較						
文房具等のリサイクル材使用製品を54期を基準とし、57期末までに95%達成にする。	◎文房具等のリサイクル材使用品の現状把握 ◎リサイクル材使用品の選定と購入個数の限定設定	%	92.3%	93.8%	94.5%	—	○	54期基準より56期は94.5%達成出来た。引き続きエコ商品の選定と購入を行う。	継続有 同等管理 で継続
			達成状況						
			達成						

※上記の表は54期(2021/8~2022/7) 55期(2022/8~2023/7) 56期(2023/8~2024/7)

5 6 期の提案制度、5 S・安全衛生活動の取組については以下の通りである。

・提案制度活動の取組

①

改善のテーマ	フランジ溶接作業効率改善	
改善前 (BEFORE)		改善後 (AFTER)
改善の効果	<p>バスボックスフランジ溶接時、赤丸の部分に曲げの影響で出っ張りがあり、直角に突き合わせても隙間ができるか、鈍角になるかで事後調整に時間がかかった。それを溶接前に赤四角の部分を整形加工することで直角が出しやすくなり、作業時間が削減された。</p> <p>削減予測算出時間 (ロット単位) : 20分の削減</p>	

②

改善のテーマ	ナットプレート溶接時作業改善	
改善前 (BEFORE)		改善後 (AFTER)
改善の効果	<p>コンジキ・シッコクのナットプレート溶接時、すぐそばにタップ加工があり、スパッタの付着などの不具合発生の可能性があった。これまでは切り板などで対策していたがズレやすく、気を使って作業する必要があったが、不要となったラバーマグネットの中から適切な大きさの物を作り使用することにした。これによってセットしやすく、またズレにくくなり作業性が向上した。</p> <p>削減予測算出時間 (月単位) : 9分の削減</p>	

③

改善のテーマ	スタンド 溶接スパッタ除去作業改善	
改善前 (BEFORE)		改善後 (AFTER)
改善の効果	<p>モカスタンド昨板下内側のスパッタ除去は鉄鋼やすりを改造したたがねで行っていたが、側板内寸との寸法差から女巨に時間と手間がかかった。そこで側板内寸に合わせたスパッタ除去用プレートを作り、少ない回数で当該箇所全体のスパッタ除去を行えるようになった。これによりやすり改造たがねを使うより1台につき、約6秒作業時間を短縮できた。</p> <p>削減予測算出時間 (月単位) : 20分の削減</p>	

■ 2024年2月から上の倉庫、社内の不用品等の廃棄を実施する。

※ 赤札作戦実施

改善活動を実施 ※目標は5S診断チェック表60点とする。

■ 上の倉庫と社内不要物廃棄各計画書

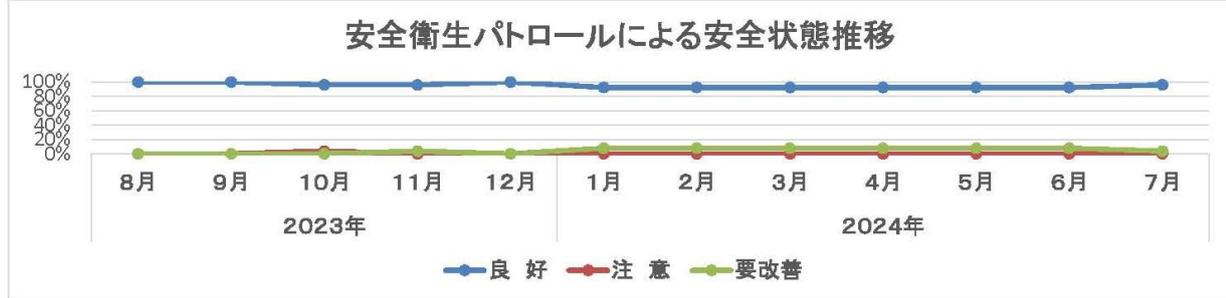
目標に向かう為の実施事項	2024年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
上の倉庫の不要物廃棄	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済
・ 現状の倉庫状態の確認	→					
・ 不要物（赤札）の抽出			→			
・ 不要物（赤札）の廃棄					→	
・ 倉庫全体のレイアウト変更						→
社内全体の不要物廃棄	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済
・ 各部門備品等現状確認	→					
・ 各部門不要物（赤札）の抽出			→			
・ 各部門不要物（赤札）の撤去					→	
・ 不要物廃棄処理						→



2024年8月からの目標として事務所Gのレイアウト変更と配線の見直し、床の清掃を行う。

・安全衛生活動の取組

状態	2023年					2024年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
良好	100%	100%	96%	96%	100%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	96%
注意	0%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
要改善	0%	0%	0%	4%	0%	8%	8%	8%	8%	8%	8%	4%



■ 2024年 6月パトロール注意・要改善事項指示

◎2024年 6月 5日(水)に実施

・要改善事項：2件

◎ 特に気になった場所

NCTG

特殊材料置場の棚の上に置いてある物（ハイスピン）ですが、実際使用しているのでしょうか。又、材料棚の上ではなく、別の場所に管理出来ないのでしょうか。検討をお願いします。

===>保管・管理方法見直し

組立G

組立資材置場ですが、脚立の上に物が置かれていたり雑然としています。一度崩れると維持出来なくなってしまうので、早急に片付けるようお願いします。

===>片付け・維持の徹底



■ 2024年 7月パトロール注意・要改善事項指示

◎2024年 7月 3日(水)に実施

・要改善事項：1件

◎ 特に気になった場所

NCTG

特殊材料置場の棚の上に置いてある物（ハイスピン）ですが、6月にパトロールした時と変化がありませんでした。

又、材料棚の右奥にある金型収納ケースも不要であれば処分して下さい。

===>要検討



57期(2024年8月～2025年7月)からの取組

電力(CO₂)の削減

: 電力メーターの基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、使用ピークの把握と各部門節電の実施

一般廃棄物の削減

: 雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

上水の削減

: 各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

金属くず(異常発生品)

: QC活動を交えながら異常発生品防止の推進を行う。

含有禁止物質の削減(グリーン購入): 客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

エコ商品購入の推進(グリーン購入): 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※有機溶剤は管理項目として掲げる。

4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規項目		遵守状況	違反、訴訟、苦情	
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	○	2024年7月末時点で無し
		騒音規制法	○	2024年7月末時点で無し
		振動規制法	○	2024年7月末時点で無し
		悪臭防止法	○	2024年7月末時点で無し
	大気汚染に関する法律	フロン排出抑制法	○	2024年7月末時点で無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	2024年7月末時点で無し
		プラスチック資源循環に関する法律	○	2024年7月末時点で無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	2024年7月末時点で無し
		家電リサイクル法	○	2024年7月末時点で無し
	化学物質に関する法律	消防法	○	2024年7月末時点で無し
		高圧ガス保安法	○	2024年7月末時点で無し
	その他の法律	労働安全衛生法	○	2024年7月末時点で無し
		特定特殊自動車排出ガス規制法(オフロード法)	○	2024年7月末時点で無し
		働き方改革関連法	○	2024年7月末時点で無し
		粉塵障害防止規則	○	2024年7月末時点で無し
	条例	埼玉県生活環境保全条例	○	2024年7月末時点で無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	2024年7月末時点で無し
		飯能市下水道条例	○	2024年7月末時点で無し
	顧客との取りまとめ	リコグリーン調達ガイドライン	○	2024年7月末時点で無し
	訴訟の有無	環境関連訴訟	○	2024年7月末時点で無し

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟は、ありません。
また、行政等から違反等の指摘及び外部からの苦情も過去ありません。

5. 代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による評価及び見直し結果報告書

見直し案	見直し案作成日	2024年 7月31日 (水)	作成者	生津 節男
	見直し対象期間	2023年 8月 1日 ~ 2024年 6月30日		
	見直し実施時期	2024年 7月29日 (<u>定期</u> , 臨時)		
	出席者	安達知明、生津節男、梅澤重隆		
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21-2017年版 ・リスク管理一覧表 (2023年 8月 1日) 様式第1号 ・環境経営方針 (2023年 8月 1日制定) ・株式会社ニッシン環境経営組織図 (2023年 8月 1日制定) 図-1-1 ・環境経営目標一覧表 (2023年 8月 1日制定) 様式第5号 ・環境経営活動計画書の実施状況 (2023年 8月~2024年 7月分実績評価済) 様式第6号 ・環境経営委員会 (2024年 7月29日開催) 様式第7号 ・環境経営目標の実績集計と達成度算出 (2023年8月~2024年6月分) 			
総括者 (代表者) の評価と指示	見直し評価日	2024年 7月29日 (月)	総括者	生津 節男
	見直し評価結果項目	内 容		評 価
	①リスク管理	・変更無し		○
	②環境経営方針	・日付のみ改訂		○
	③環境経営組織	・56期から部門責任者の改訂有り		○
	④環境経営目標	・54期基準に対し、56期 (基準期より2年目) の売上は約49.16%増であった。主に主要取引先の売り上げが好調であった。 又、経費削減・在庫削減活動にも取り組みを行った。 その結果各テーマにおいて目標2%減に対し、全て達成となった。 電力 ……20.07%減 廃棄物 ……53.63%減 上水 ……17.74%減 異常発生品 ……97.97%減 二酸化炭素 (電力) ……35.09%減 (二酸化炭素全体では33.64%減) 57期も引き続き売上確保と、無駄な経費・在庫、又、異常発生品を出さないよう5S・品質管理をリンクさせながら今以上に活動を行う。		○
	⑤環境経営活動計画	全ての計画に関しては活動を行っている。		○
	⑥EMS	・来期 (57期) も、引き続きISO9001の運用を上手く利用しつつ、作業の効率化を行っていただきたい。今回の未達成についての対策、生産性向上に向けた計画をしっかりと立ててほしい。		○
⑦総括者の指示	・57期 (2024年8月1日~2025年7月) も、無駄な経費特に電力に関して徹底的に節電対策を行い、在庫削減活動や無駄な購入品を抑え投入・排出を減らしていきたい。		○	
改訂指示	改訂内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針 (日付) の改訂 ・環境経営組織図 (部門責任者) の改訂 ・各部門の実施手順書等の改訂 		
	環境管理委員会	審議日	2024年 7月29日 (月)	
		審議内容	各テーマ削減達成状況と57期 (2024年8月~2025年7月) の活動について	
	審議結果	全員一致で2024年8月1日より実施する事に決定。		

注1：評価は良=○、改善を要するが結果は良△、再検討×